

ふらっぶ通信

第9号

社会福祉法人
なつな学園
サービスマスター
ふらっぶ

「この夏の出来事」

滝沢 一人

今年の日本は(も?)

本当に異常気象ですね。春、まずまず例年並みの天候で推移したと思っただのもつかの間、やっとのことで梅雨が明けても、なかなか暑くならない状態が続きました。その一方で、降水量は少なく、水不足が懸念されていたかと思えば、先日は逆に九州や中国地方などで大きな被害をもたらした大雨が降るといふような本当に安定しない天候が続いています。また、東北や北海道などでは低温が続く、北海道初の果物などは軒並

み成長不良に追い込まれているという。現在の所はまだ供給が間に合っているようですが、近いうちに供給不足に陥り、野菜などが高騰するのが目に見えているそうです。やはり地球規模で何かが起こっている(起こりつつある)のでしょね。私的には今年の夏、予てから希望していたアユ釣りデビューをいたしました。鮎の友釣りとは、梅雨の最中から始まり、ジリジリとした夏の日差しとともに、大きく大きく育った清流の恵みをだまして釣り上げるものです。香魚ともいわれる鮎は、魚の生臭さとは縁遠い、それはそれ

はさわやかな夏の匂いのする清流の夏の恵みなんです。異常気象のせいにするつもりは毛頭ありませんが、なかなか釣れません。厳しい夏、修行の夏です。さて、そんな残暑の中、日本の国に於いて大切な選挙が終わりました。兎にも角にも、政権が大きく変わりました。不安ももちろんあります。どこかの政治屋さんのスピーチではありませんが、不満を不安にかえただけとまでは思いませんが、今度こそ国民第一の政治であってほしいと切に願います。最近少し大きな買い物をする時は、必ず

数社に見積をとりますよね。見積もりを見て国民が決めた買い物ついでいえるかもしれない。しかし、今回の選挙で、無駄じゃ無駄じゃと流されてきた一億総中流意識の国民の中で、民主主義ってその気になれば変わるし、行動すれば動かせるということなんだと感じた方も多かったんじゃないでしょうか?しかし、暮らしては動いただけで止まっていられませんか。進まなきゃならない。まずはともあれ、鳩山さんたちにはマニフェストの実現に向けて、大いに官僚・抵抗勢力と戦い、国民への様々な利益分配をと期待しております。

現代社会の仕組みは、平均・標準に合わせつつくられていくのだなーと感じることが多くあります。多数決が絶対優先される今の民主主義の中では、仕方のないことですが、数の倫理を突きつけられる政治に、最後の一人に合わせる制度設計は望めないと思えます。

若いころ真剣に登山と向き合っていた。山登りではない。山登りではない。勝手で乱暴な登り方をしてみました。たとえばグループ登山においての行動はすべて、最後の一人のペースに合わせて歩みを進められます。元氣な健脚も一定の距離をとりながら、結局は最後の仲間のペースに合わせて行動します。なぜなら、落伍者をひとりも出さずに、集団全体の安全を確保するためにはそれが不可欠だからです。政治と山登りを一緒にするなとお叱りを受けそうですが、政治はただのために問われれば、生きにくさを抱えた人に一番向けられるべきものであつてほしいと思えます。

自律支援法の行方を中心に、今後の与党民主党政権のお手並みをまずは見守つていきたいと思えます。政権交代によつて私たちを取り巻く福祉の環境が変わることをもちろん注視しなければなりません。私たちが現場の力がそれに付随して交代したりしない事をしっかりと認識し、勘違いや錯覚することのないよう、求められる事を見極め、サービスの質を高めたいことのみ考えたいことと思えます。

ECOコンビニ

京都市と環境市民団体「京都2Rシステムプロジェクト」が共同で、市役所内にごみ減量や省エネを実践する「エコ・コンビニみやこスタイル」を開設し、6月23日から3か月間、営業することが決まりました。

お客さんが持参するコップに飲料を提供する「マイボトル」の社会実験などを行い、地球温暖化防止に向けた取り組みとしてどれくらい有効か調べるとのことです。同プロジェクトは京都大などでマイボトルの社会実験を手がけた実績があり、市にもちかけて実現したとか。本庁舎1階の「市民まちあいコーナー」の一角18平方メートルにカウンターや陳列棚を設け、有人店舗として飲料、弁当、文房具など約200点を並べる。飲料は専用機械を置き、1杯(250ml)50円でコーラ、コーヒー、ジュースなどを販売する。缶やペットボトル入りの飲料は扱わ

～お客目線～

いすのつ環コクして場ト
ですもつ境ボ・たい所ルしがあはいす5
するのおのトエ。てもをた寄るりうが0
ねのを気事なコエ、設洗。せとおの飲円
もちにもど箸コ便置浄工らい得はめで
楽ヨ入考：・パ利さすコレう感、るユ
しイりえ：エツでれるボま声もやと！

す。いれつ働あしで度か多しぐラ初慣
もるもいりたきにし々て作！はれ
増人買てま。るス、あも業に緊な
えないいす大よム回り戸やジ張い
てど物るが変う！数ま惑、ユし事
楽、に人、なにズをしう接！、な
し知来や一こなに重た場客スタの
いりて、緒とり作ね。面にをんで
で合くいにもま業るしが關注ブ最

従業員目線

ず、レジ袋、割りばしの配布・販売も行わない。商品搬入には原則、天然ガス車のみを使用する。

市は結果を検証し、9月下旬以降の継続の可否を決めるそうです。8日には、門川大作市長、商品を納入する協力企業ローソンの新浪剛史社長らが記者会見を開き、門川市長は「もったいないの気持ちを知ってもらい、きっかけになれば」と期待を寄せていた。営業は平日の午前8時45分～午後5時半で、市職員以外の人でも利用できるとの事です。私も行ってみたいと思います。皆さんも是非！

そして、市内で障害をお持ちの方が、このコンビニで働くことに(^^)この度、レポートに行って参りました！



ブログ開設のお知らせ

8月1日よりサービスセンターふらっぷのブログ「ふらっぷたより(仮)」を開設いたしました。

ふらっぷ内の日々の出来事、ヘルパー研修報告などを掲載していきたく思いますのでご一読の程宜しくお願いします。

URL : <http://flap.sblo.jp/>

療育手帳のコピー防止シール

京都市は、発行する障害者手帳にコピー防止シールを張るなどの偽造防止策を12月1日から導入すると記しています。他都市で偽造手帳を使い不正に障害者割引サービスを受けた事件が発生したため、対策の一つとして導入に踏み切りました。

手帳には顔写真や障害の程度などが記入され、提示すれば公共施設や携帯電話使用料の割引サービスなどが受けられます。昨年以降、横浜市などで顔写真を張り替えたり、カラーコピーで複製した偽造手帳を使って携帯電話

の障害者割引契約をする事件が発生しています。京都市発行の手帳を使った偽造事件はありませんが、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の3種類を対象に、コピーすると透かし文字が現れる偽造防止シールを張り、写真もはがせないようにするなどの防止策をとることにしています。

12月1日以前に手帳を交付された人には、希望があれば区役所などの窓口で偽造防止処理を施すことができます。

問い合わせは
市障害保健福祉課Tel: 075(222)4161

そうなんだー!

ふらっぶ職員のこんなこと

その他の部分で、月ごとに取り組んでいる仕事をピックアップしてみました。研修・意見交換会などを主に記しました。

へえ!

5月

29日：ふらっぶ全体ヘルパー会議（ビデオと意見交換）

6月

26・30日：ふらっぶ全体ヘルパー会議（てんかんについての研修と意見交換）

7月

14日～16日：霞末「行動援護研修」

28日：ふらっぶ全体ヘルパー会議（行動障害について。グループディスカッション）

30日：岡崎「ボランティア研修」

8月

10日：岡崎「広報誌研修」

26日：ふらっぶ全体ヘルパー会議（ビデオと意見交換）

この他にも、毎月法人全体の管理者会議や理事会などが定例で行われています。

6月某日行ってきました「ほのぼの屋」

6月某日職員研修で、兼ねてから熱望していた「ほのぼの屋」へ行ってきました。「ほのぼの屋」の建物自体も、2002年度「舞鶴市まちづくりデザイン賞」にも選ばれています。障害を抱えているスタッフ力が合わせて、本格的なフレンチを実現されていて、ウエディングを行うこともでき、とても素敵な所でした。接客やスタイルからも学ぶべき点が多く、「ホーっ!」という場面が多くありました。よい経験になりました!



研修報告「行動援護研修を終えて」

7月半ばに三日間の研修に行きました。『行動援護の対象者とは...』という講義から始まり、研修二日目からは他事業所の方々と『行動援護の方の支援にこんなハプニングがあったら...』という題目でグループディスカッションをしました。デパート等、人が多いところでパニックがあった時の利用者さんとの寄り添い方や、周囲への対応の仕方、また自閉症の方への視覚的提示の活用方法など、様々な意見を聞き、「私のいつもの支援の仕方以外にも色々な関わり方があるんだなあ...」と思い、自分の支援のあり方を見直す良い機会になりました。
霞末

日本国内の、ニュース。今回は北海道と熊本をピックアップしました

北海道で障害者条例 成立 (差別・虐待のない暮らしへ)

北海道議会は3月27日、「障害者権利条例」を全会派一致で成立させました。条例の目的は、障害者（児）の権利擁護と、差別や虐待を受けることのない暮らしやすい地域づくりを推進することです。道の責務として、条例の目的に沿った施策を実施しなければならないことを定め、財政上の措置に努めることや、道内の地域間格差の是正に配慮することなどが規定されています。圏域ごとに「地域づくり委員会」も設置されます。

北海道で障害者条例 成立 (差別・虐待のない暮らしへ)

あらゆる障害に基づく差別をなくすための条例を熊本県でもつくろうと、県内の障害関係23団体が「障害者差別禁止条例をつくる会」を7月18日に立ち上げ、同日、熊本市内で設立総会とJDF地域フォーラムin熊本を開催しました。日本障害フォーラム（JDF）との共催で、約300人が参加。県と県議会も条例制定に取り組む姿勢を見せています。
引用：「www.fukushishimbun.co.jp」より

子ども企画!

スプリングスひよしへ

キャンプ!!2009!

7月25~26日と8月8~9日、福知山は大江山の家さんにお世話になり、夏キャンプに行ってきました!!

車で大体2時間、電車でいくとJR山陰本線で園部、福知山北近畿タンゴ鉄道にそれぞれ乗り換えて大江山口内宮駅(おおえやまぐちないくと読みます)が最寄り駅、こちらは乗り継ぎが上手くいけば2時間半くらいで到着します。酒呑童子の鬼伝説が伝わる大江山、電車を降りて宿泊場所まで行く間に、いろんな色の鬼がコワイ顔?ちょっとふざけた顔?で出迎えてくれていました。駅から宿泊場所まではバスに乗りましたが、運転手さんが気を利かせて停留所を過ぎ、宿泊場所のすぐ近くまでつれてくださいました。なかなかローカル。臨機応変とはまさにこのことだと思いました!ありがとう、運転手さん!

8月某日、学齢期の子どもさん達の企画で「スプリングスひよしへ」へ行ってきました。ピクニックを楽しんでから、日吉タムの展示室や、温水プールで遊びました。日吉タムの展示室は、夏場でクーラーもつけていないのに、すずしいーひんやりしていて皆でビックリしていました。分かりやすい解説や写真などでタムの事もよく分かりました。エレベータで上へあがり観た景色は「こわい!」「ひるーい!」「すごいなあ」など、まるで大海原のようでした。温水プールは、様々な深さのプールが設備されていて、ジャグジーはもちろん、マッサージレーンや子どもプールも充実していました。大勢で遊ぶことにより、皆さんのニコニコ顔も倍増していた様に思います。次回は、学校が長期休みに入る「冬休み」に第二弾として企画を予定しています。又一案内いたしますので、皆さんよろしくお願いします。



晩御飯はBBQ!!お肉、ソーセージ、さんま、焼きそば、野菜はとうもろこし、しいたけなどなど、皆さんそれぞれ好きなものをおなかいっぱい食べられたようです。どうです?おいしそうでしょう!夏キャンプには欠かせません、キャンプファイヤーでは所長のギターに合わせてみんなで唄って踊って、リクエストをして一人で歌を披露してくださる方もおられました。中には腹踊りをされる方もでてきて...



今日一日の締めくくりは花火!火をじっと見つめて何か思いふけておられる方もおられましたよ!

明けて2日目!朝食はホットドッグ。これは作り方が面白くて、パンにソーセージとキャベツを挟んでアルミホイルを二重巻き。牛乳パックの中に入れたらその牛乳パックを燃やします。燃えきったら丁度いい具合にホカホカホットドッグの出来上がりです!食べ終わったくらいから...雨!!2回とも雨!!おかげで残念ながらスイカ割りや川遊びは中止になりましたが、みなさん大きな事故もなく、体調を崩すこともなく帰ってこられました!それではまた来年!

編集後期

梅雨も明けて、外は

すっかりカンカン照り。今日も汗びっしょりになってしまいました。しかし、夏というのも素敵な季節です。

海・山・川とレジャーシーズンです。蝉やカブト虫も大活躍。私も先日、海へ行ってきました。「水晶浜」という所へ行ったのですが、名前の通り素敵な所でした。風が強くてテントが崩れた!といったハプニングにも見舞われながらでしたが、リフレッシュしてきました。いやー、やはりレジャーはいいですね。

又、京都のお盆で有名なのが「五山の送り火」です。皆さんはご覧になったでしょうか?私は生まれも育ちも京都なものでコレには縁があり毎年観ています。それぞれに点火の方法も違い、競うように美しく、燃え上がらせます。ゆかたにうちわを持ち、送り火を観るのはやはり風流だなあと、ガラにもなく思ってしまう訳です。

そんなこんなで、まだまだ暑い日が続きますが、こよみでは「立秋」をすでに迎え赤とんぼも飛び始めています。只今、残暑の真っ只中。皆さんどうぞ体調には気をつけていたください。残り少ない夏を楽しんでください。